

AI 利用し英作文

徳島大・任教授がソフト 例文表示で高精度実現

徳島大学工学部の任福
 継教授は人工知能(AI)
 を使って日本語のキーワ
 ードから書きたい文章を
 推論し、英作文を作成す
 るソフトウェアを開発し
 た。同教授が中心になっ
 てこのほど設立したベン
 チャー企業で商品化し、
 情報処理業のエイ・シー
 ・アイ(東京・港、光吉
 ・俊二社長)を通じて二〇
 〇四年三月に全国発売す
 る。

市に置き、代表取締役
 は任教授が就いた。資本
 金は一千万円。開発した
 ソフトの名称は「知的英
 作文支援システム」で、
 日本語や英語の単語、文
 例をコード化し、複数の
 日本語キーワードを入力
 すると、それらのキーワ
 ードをひんぱんに使う文
 例を推論しながら引き出
 し、英訳する。

推論はユーザーの使用
 履歴を記録した上で、経
 験則と統計データに基づ
 き、約二千の基本文章、
 約百万の例文の中から、
 ユーザーが求める最適の
 英訳文書を表示するとし
 ている。従来の日英機械
 翻訳ソフトは日本語の文
 章を単語、節、句、構文
 のそれぞれの段階で分析
 し、全体の意味を解析し
 たうえで英訳するため、
 時間がかかるところに精
 度低下の難点がある場合
 が多かった。新ソフトは、
 キーワードから例文を
 表示する仕組みで、高
 精度で短時間で表示で
 きるといふ。

任教授が中心になって
 徳大の教官、大学院生と
 設立した会社は「エイ・
 アイ・エイ国際高度情報
 化研究所」。本社を徳島